
電気豚の飼い方

フェイスレス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

電気豚の飼い方

【Nコード】

N1508W

【作者名】

フェイスレス

【あらすじ】

とある町には居住すると自宅に住み憑く生物がいる、それは電気豚。

ちよつと気になるあなたに電気豚の特長を紹介、ただし電気豚を飼うには名前も出てないこの町に住み移らなくてはいけないのです。

（前書き）

会話文の一切無い話を書いてみた。

この電気豚はモデルがあるので、それが書かれるまで考えてくれる
とうれしいです

電気豚はこの村でしか存在できない。

また宿主である人間がこの村に在住し、村から出ない限りは共に生きるものである。

この町がまだ村だった頃に電気豚を連れてきた女性、イナリ・M・ルールストーンが残した言葉だ、事実電気豚をこの町から連れ出すと霞の様に消える。

この摩訶不思議な生物はこの町の住人一人につき必ず一匹だけが憑く、75匹まで増える事は無く死ぬまで減る事も無い。

町から出れば消え、町に戻れば現れる非科学的な生物ではあるが、それを疑問に思う者は国内どころか外国にも皆無である。

外見は鼻がコンセントの穴、尻尾がそこに挿すプラグというのが共通するのみで、それ以外は宿主によって変わる。

ただ体重はどれほど大きくても21グラムととても軽いが、その身体は何をしようと傷つく事は無い。

毎週金曜日の23時に産卵し霞の様に消え、その卵は土曜日の零時に孵る。この一時間だけ町の住人達は緊急時を除き卵から離れる事は無い。

雑食ではあるものの、どの個体も味噌を特に好む。その為かこの町の味噌消費量は市町村別に見ると2位以下を大きく引き離して1位である。

特に狭い穴を寢床として好み、見た目の半分も無い竹筒の中に入り込み抜け出せなくなる姿がよく目撃されている。

睡眠中には柔軟性の高い電気を体内で生産し蓄える。

この電気は適度に発散させなければ表面まで帯電し始めるので、睡眠中の電気豚の鼻には携帯電話の充電器や携帯ゲーム機の充電器などが良く刺さっている。

高齢者はそのまま帯電させている事が多いので特別危険なわけではなく、充電に使われているのは節電の為のようだ。

この町では落し物が交番に届けられる事が少ない。落し物が少ないのもあるが、電気豚が拾い、持ち主に届けるのが一番の原因だ。ただし貴金属は宿主に届けられるので、住人は落し物をしないように普段から気をつけている。

どの個体も穏やかで争いを好まない電気豚ではあるが、自身と宿主に向けられる悪意には敏感で、警戒態勢に入った電気豚は非常に危険だ。

他にも悪事を嫌う為、悪事を働いた宿主には例え危険が迫っても庇いも警告もしない事がある。

この事から町で起こる犯罪のほとんどが外部の人間によるもので、それも間を置かない内に電気豚により気絶させられて捕まる。

気になるこの電気豚の分類であるが、以外にも公式にその分類が行われており以下のように書かれている。

幽核生物・動物界・脊索動物門・霊体動物亜門
浮遊網・管狐目・蓄電亜目・混類科・不定形属・固有種・個人依存
亜種

この下には日本語で小さく“消さないでねっ”と書き足されており、悪戯ではないか・消すべきだと言われながらも今尚残っている。

追記：

電気豚が管狐であることに疑いは無いが、ここでも飯綱いづなに繋がる情報は一つ発見できずに終わった。

イナリ・M・ルーストンによると、電気豚を村に与えたのは流行り病根絶の為だったという。悪しきを祓う管を村人全員が扱えたとは思えない、管使いはルーストンだけで他は貸与されているのだろう。

数百年前の時点で外国人の管使いが居たというのは新しい発見だ。搜索範囲を国外にまで広げる必要がある。

気になる事といえばあの悪戯っぽい笑顔だ。見た目だけだと一回りは年下であろう彼女のその顔は、僕の記憶以外から何もかも消え去った管使いの義妹にとても良く似ていた。

彼女の言葉を信じるならば彼女は数百年を生きる魔女で、勇者と魔王兼管使いの娘だというのが、まさか……

〳〳石律いしのり 南奉なんぶの手記、電気豚と管使いの関係より〳〳

（後書き）

やっぱり一番楽しみな解説、止められない止まらない！

電気豚

管狐の亜種、鼻がコンセント・尻尾がプラグなのはイナリのせい。
本文は電気豚の紹介に終始している、誰特

イナリ・M・ルーストン

管使い、村中に電気豚を憑けて回って村人の流行り病を浄化した。
イナリに子供が出来ない限り、イナリが死ぬ事で電気豚は生まれなくなる。自称数百年を生きる魔女、勇者と魔王兼管使いの娘

21グラム

魂の重さ。ここの管狐は見て・触れて・死ぬが元々憑きもの、いわゆる霊なので21グラム固定

生まれるときと死ぬとき

一週間で死ぬのは町に気を巡らせる為、流行り病は土地から来るものでまだ完全には浄化されて無い。電気豚を残してるのもその為

柔軟性の高い電気と帯電

体内に変換機も備えており、その時々には最適な電圧・電流で放出する。

帯電しても電気豚は電圧・電流をある程度決定できるので、睡眠中に不用意に触っても静電気程度、起床時なら簡単な低周波電気治療とかしてくれる

分類

この分類はフィクションです、実在の生物・分類名とは一切関係ありません

管狐

飯縄権現、飯綱とも。味噌が好物・竹筒（狭い穴）の中に入る・7匹に増える、など範囲がそれなりに広いので伝承も色々

石律 飯綱

石律家の養子で末女、一番懐いていた南奉以外に忘れられた管使い。勇者とか魔王は別に前振りじゃない。ほんとだよ？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1508w/>

電気豚の飼い方

2011年10月9日15時04分発行